

## 施設計画検討の前提条件

- 以下の計 4 ケースについて検討を行う。

コンサート使用が考えられる 7,000 席のアリーナについては、ステージ空間が常設されたコの字型の客席配置について検討する。

項目	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
アリーナ	5,000 席	7,000 席	7,000 席 (アリーナ/大ホール一体型)	—
大ホール	2,000 席	2,000 席		1,968 席 (既存規模)
中ホール	800 席	800 席	800 席	1,170 席 (既存規模)
アリーナ客席配置	コの字型	コの字型	コの字型	—

- ケース 1～3 について、大ホール、中ホールの規模は、現在の施設機能を維持する形で確保することを目指す。施設計画的に厳しい場合は、縮小することも検討する。
- アリーナは、「B リーグアリーナ検査要項【2018-2019 シーズン用】」の B1 ライセンス基準に基づき、計画を行う。
- ケース 4 について、既存施設の周囲に、施設の付加価値を高める空間を増築する。
- 利用者動線は広場側からのアクセスを基本として考える。
- 工事費抑制に配慮し、地下駐車場の構造そのものには手を加えない。
- 駐車場は関係者用とし、地上部で確保する。利用者用の駐車場は、新たに地下等に増設しない。
- 搬入車両出入口は、敷地南側の現在と同様の位置に確保し、各施設への搬入は東側から行う。
- 不足する設備スペースについては、現在と同様、地下で確保する。